

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

浮羽工業

高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p align="center">「技を磨き、地域社会に貢献できる工業人材を育成する学校」 生徒の関心に応じて専門分野を選択できる得意技コース制や、ものづくりを通じた教育の充実により、 確かな工業技術を身に付け、地域の産業や社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p align="center">スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー ○浮エチャレンジャーズを合言葉に、何事に対しても積極的に挑戦する態度を育む。 ○あいさつ5S活動を通して、気持ちの良い挨拶、社会人としての礼儀作法を身に付ける。 ○地域を愛し、積極的に地域貢献しようとする人材の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>カリキュラム・ポリシー ○生徒が希望する資格や技術を習得し、進路を実現するための「得意技コース制」の充実 ○地元企業への工場見学・インターンシップの実施など、地域と連携したキャリア教育の推進 ○地域貢献の精神を育成するための「テクノボランティア」の実施 ○習熟度別・少人数指導、ICT機器の活用など、きめ細かな授業の展開</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>アドミッション・ポリシー ○ものづくりに興味がある人 ○資格や技術を身に付けて自らの進路を見つけたいと思っている人 ○何事も粘り強く取り組むことができる人 ○人と協力して積極的に取り組む姿勢を持っている人 ○学校行事や部活動にも積極的に取り組むことができる人</p>

<p align="center">学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>	<p align="center">日本国憲法、教育基本法の精神に則り、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、地域社会に貢献できる工業人の育成に努める。</p>		<p align="center">評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p align="center">年度重点目標</p>	<p align="center">具体的目標</p>	
<p>本校は、創立118年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職率100%、四年生大学進学者等を含め就職・進学ともに安定した進路実績がある。このことは、工業教育を永年にわたり実践してきた歴代校長以下、本校職員の実践が奏功、かつ有為な社会人として卒業生が活躍してきたことの賜物である。全学科得意技コース制の積極的運用を通じ、地域社会に貢献できる工業人育成学校を目指す。「時を守り、場を清め、礼を尊ぶ」浮エチャレンジャーズ」を合言葉に生徒と教師が一致団結し何事にも挑戦し続ける校風をさらに醸成することや、あいさつ5S活動に取り組み、「時を守り、場を清め、礼を尊ぶ」の徹底を図り、地域から愛され必要とされる人材を育成する学校作りに邁進していく。</p>	<p>キャリア教育の充実と得意技コース制の活性化を図り、就職率100%の維持と進路内容の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した授業(ICT機器の活用・AL)を展開することで、生徒の基礎学力・技能の養成に努める。 ・キャリア教育を充実させ、向上心に溢れ、高い志を持つ生徒の育成を行う。 ・資格取得や基礎学力の育成のため、指導体制を強化する。 	
	<p>テクノボランティア(実習の成果を生かした地域貢献・社会貢献活動)の拡充を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり教室」や課題研究・文化祭等のテクノボランティアで確実な成果を上げる。 ・「テクノボランティア」活動の活発化と、地域との連携を深め、その内容の充実を図る。 ・ものづくり部の指導体制の確立と活動の充実を図る。 	
	<p>ものづくりを通じた人づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりは人づくりの観点から、挨拶指導や身だしなみ指導等を徹底する。 ・幅広い人づくりを推進するため、部活動を活性化させる。 ・教員がしなやかな人権感覚をもち、道徳心やいじめ撲滅等に向けた人間力の育成を行う。 	
	<p>広報活動を充実させ、地域に信頼される学校づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校らしい特色ある教育活動の実施において、広報活動の強化・充実を図る。 ・テクノボランティアとともに地域貢献活動の推進(柔軟な生徒派遣)を行う。 ・ホームページやSNS等、中学校訪問の充実を図るとともに、戦略的展開における広報活動を実施する。 	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教科指導	主体的・対話的で深い学び が達成できる授業の拡充	ICT機器を効果的に活用し、わかる授業を展開する。	授業アンケート「ICTの活用」の実施(生徒)	
		生徒自ら課題を設定し、解決に向かう活動を推進する。		
		新教育課程に則した授業計画の改善を図り、生徒の授業満足度を向上させる。		
	授業環境と教務規定等の整備	学習環境の整備と授業規律を徹底する。	授業アンケート「始業の準備」の実施(生徒)	
		教務規定等の見直しを図り、本校の実態と社会に則した教育環境を推進する。		
		各教科・担任・保護者との協力体制を築き、情報の取得と共有をする。		
地域社会に貢献できる工業 人材の育成	考查前学習会の改定を行い、クラスで対話的に学習し合う環境を作る。	授業アンケート「先生の説明」の実施(生徒)		
	「ものづくり」や「テクノボランティア」を通して、地域貢献できる人材を育む。			
	生徒の実態に応じて、最適な学習支援を行う。			
生徒指導	全職員でいじめの未然防 止、早期発見、早期対応に 取り組む。	学校いじめ防止基本方針を共通理解し、いじめの起こりにくい環境づくりに努める。	いじめアンケートの実施(生徒・保護者) 学校生活アンケートの実施(生徒) 生徒指導に関するアンケートの実施(生徒・保護者)	
		学校生活アンケート等を実施し、生徒情報を共有し、全職員で適切な支援を行なう。		
		生徒指導部通信を発行し、生徒だけではなく保護者に対しても情報の提供や注意喚起を促す取り組みを行い、家庭との連携を強める。		
	基本的生活習慣の確立と規 範意識を育む。	挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装と自律性ある態度を育成する。	生徒指導に関するアンケートの実施(生徒・保護者) 各講演会後に実施するアンケート	
		校内の巡回指導を実施して生徒の実態を把握し、学年や学科と連携して規範意識を高める。		
		専門的知識を有する外部人材を活用した講演会を実施し、生徒が学習できる機会を設定する。		
	交通安全教育の充実と改善 を図る。	定期的に交通に関する集会を実施し、交通安全に対する意識向上に努める。	生徒指導に関するアンケートの実施(生徒・保護者)	
		通学で使用している自転車やバイクの定期的な点検を行う。		
		自動車学校や警察などの外部機関と連携し、交通安全に関する情報や資料を生徒に提供する。		
進路指導	進路実現のための職業観・ 勤労観の育成	一年次よりガイダンスや継続的なコース希望調査を用いて、進路への意識付けを行う。	コース希望調査の実施(1学年・生徒・保護者) インターンシップ事後アンケートの実施(生徒・企業)	
		工場見学やインターンシップにより実際の現場を経験させる。		
		各学年団と連携を図りながら、それぞれの学年に応じた体系的な指導を行う。		
	基礎学力の定着および社会 人としての態度の育成	対外的な模試等を実施し、学力を客観的に考察させることにより学習意欲を喚起する。	基礎力測定診断後アンケートの実施(生徒)	
		普通教科、専門教科と連携し、生徒の満足度を高める。		
		就職試験や大学入試の傾向を分析し、生徒に情報を提供することで基礎学力の重要性を認識させる。		
キャリアプランニングの一環 として、資格取得に対する意 欲の涵養	キャリアパスポートを用い学校生活全般を振り返ることで、自分の役割の価値を認識し、生き方を意識させる。	年度末進路意識アンケートの実施(生徒・保護者)		
	自己の進路を実現するための手段の一つとして、資格取得に対する意欲の向上を図る。			
	実習、課題研究を通し、様々な課題を発見、分析し、解決する能力を育成する。			
総務企画	学校各種行事を円滑に遂行 する。	式典や各種行事等において、各部署と協力、連携し、職員への周知、情報共有を行う。	学校満足度アンケートの実施(生徒・保護者)	
		大規模改造計画に対応し、各種行事の企画運営を行う。		
		教務、広報と連携し、中学校訪問や体験入学を通して、得意技コースの周知および本校の魅力を中学生に伝え、志願者増につなげる。		
	保護者、地域、同窓会との協 力関係を築き、学校の活性 化につなげる。	PTA行事等への保護者への呼びかけを積極的に行い、理解や協力を得る。PTA行事について内容の精選を行う。	学校行事参加者アンケートの実施(保護者・来賓)	
		公開する学校行事を通して地域との良好な関係を築く。		
		学校行事を通して、同窓会、教育振興会との連携を築く。		

広 報	地域や中学校に向けて広報活動を戦略的に展開する。	<p>中学校や塾への広報活動を年間を通じて定期的・効果的に行う。</p> <p>中学校や新入生から意欲的に情報収集を行うとともに、各学科・部活動顧問等と情報共有、共通認識を図る。</p> <p>SNSを駆使し、情報発信の幅を広げるとともに、動画等で本校の魅力がわかりやすく伝わるよう努める。</p>	体験入学参加者アンケートの実施(中学生・保護者)	
	中学生体験入学、進路相談事業や高校説明会等において、本校の魅力を丁寧にわかりやすく伝える。	<p>体験入学を通じて、中学生や保護者にもものづくりや本校の魅力を伝える計画・内容の向上に努める。</p> <p>コース制、各科の内容、進路実績などをわかりやすく伝える。</p> <p>高校説明会においての説明内容をさらにブラッシュアップし、中学生にとって気になる学校の1つになるよう努める。</p>	体験入学参加者アンケートの実施(中学生・保護者)	
研 修	働きやすい環境をつくるため職員のニーズに即した研修の企画運営を行う。	<p>職員の要望に応え、職務の遂行に役立つ校内研修を行う。</p> <p>職員が学び続けることができる働きやすい環境をつくるための研修を行う。</p> <p>外部講師を積極的に招聘し、職員が積極的に参加できる研修を企画する。</p>	職員研修後のアンケートの実施(職員) 授業参観および研究授業の参観シートの活用(職員) 授業アンケート「ICTの活用」等の実施(職員)	
	職員の資質や力量を向上し、授業改善のための研修を行う。	<p>1学期(6月)に授業参観月間、2学期(11月)に研究授業月間を設定する。</p> <p>ICT研修等を通して、授業改善に資する研修を行う。</p> <p>キャリアアップ講座等外部研修の受講斡旋を推進する。</p>		
教育情報	ICT機器を活用した効果的な授業の推進	<p>Chromebookの活用を推進し、学習効果を高める。</p> <p>ICT機器の管理を徹底し、トラブルへの迅速な対応を行う。</p> <p>ICT支援員と連携し、ICTを活用した学びを積極的にサポートする。</p>	ICT活用指導力調査(職員) 学習者用タブレット端末活用調査(生徒・職員)	
	ネットワークの安定運用	<p>ネットワークセキュリティを確保し、情報漏洩防止に努める。</p> <p>各科、各分掌と連携し既存データの整理・整頓を図る。</p> <p>各分掌と連携し、校務支援システムのスムーズな運用体制を築く。</p>	ICT活用指導力調査(職員)	
保 健	全職員と連携した保健業務を行い、生徒の心身の健康維持を図る。	<p>保健室を利用する生徒へ適切に対応し、担任や学年等との連携に努める。</p> <p>生徒の自己を振り返る機会を設けて、年2回のセルフチェックを行い、自己理解の深さを把握するとともに日頃の教育活動に役立てる。</p> <p>教育相談委員会やSC・SSW等の相談機関を活用し、状況把握や助言を受けて早期対応を行う。</p>	セルフチェックの実施(生徒)	
	日常の清掃活動を通して、美化意識の向上に努める。	<p>日々の清掃状況を把握し、職員による支援や指導を通して校内美化に努める。</p> <p>美化コンクールを実施し、清掃活動の徹底と美化意識の向上を図る。</p> <p>掃除道具の調査や掲示物作成、委員会による呼びかけを通して過ごしやすい環境を整える。</p>	清掃状況チェックリスト(生徒)の活用	
図 書	図書館の環境整備を行い、生徒の読書活動を支援する。	<p>図書館の移動を円滑に行い、新しい図書館の環境を速やかに整える。</p> <p>生徒のニーズに即した選書を行い、貸出数を増やす。</p> <p>図書委員会の活動を活性化させ、生徒の読書活動をさらに活発にする。</p>	図書館利用状況調査(生徒) 朝の読書の効果についてのアンケート(生徒)	
	「朝の読書」や「芸術鑑賞教室」を充実させ、生徒の感性を豊かにする取り組みを行う。	<p>「朝の読書」を浸透させ、落ち着いた学習環境作りに寄与する。</p> <p>「朝の読書」を通して、読書の習慣化と読解力の向上を図る。</p> <p>「芸術鑑賞」によって豊かな心を育み、芸術に親しむ習慣を培う。</p>		
生徒会指導	自治的活動の活性化を図り、充実した学校行事を実施する	<p>生徒会・リーダーが、主体的な行事運営を行うことで生徒会活動の活性化を図る。</p> <p>生徒一人ひとりが生徒会の一員であることを自覚させ、それぞれの立場で役割を果たす態度を養う。</p>	文化祭・体育祭アンケート実施	
	部活動の充実	<p>部活動に対する生徒の意識調査を実施し、現状把握を行う。</p> <p>部活動に対する職員の意識調査を実施し、現状把握を行う。</p> <p>働き方改革を進めつつも、生徒が充実感のある運営をめざす。</p>	部活動に対する意識調査の実施(生徒・職員)	

第1学年	基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る	学習集会等の学習を深める場での教員、生徒が互いに自助、共助できる雰囲気づくり 学習活動に取り組みやすい教室の環境整備 学年集会等を使い、各コースについての理解度を深めることで個人の進路への意識を高める。	学科コース編成のための希望調査(1学年・生徒・保護者)	
	基本的な生活習慣の確立	挨拶の徹底 集団行動や学校行事などを通し、報告・相談・連絡ができる人材を育成する ルールだけでなくマナーやモラルなどその場で正しい判断ができるように学校生活や学校行事を通し、理解させる。	生徒指導部による学校アンケート(生徒)	
第2学年	基礎学力と進路意識の向上	定期考査や資格取得に向けた意識向上の為の学習環境と環境整備を行う。 2つ以上の資格取得率100%を目指す。 事前事後指導を徹底し、充実感のあるインターンシップを行う。	進路希望調査(生徒・保護者) インターンシップの事前事後アンケート(生徒)	
	学校行事における自主的・主体的意識および態度の育成	学校行事を通し、リーダーの活躍の場を設け、行事を成功させる。 学年集会の中で、学校行事を「こなす」から「作り上げる一員」の意識を醸成する。 中堅学年としての立場を理解し、周囲に配慮した言動がとれるよう指導を行う。	生徒指導部によるアンケート(生徒)	
第3学年	最高学年として、日常生活の中でリーダーシップを発揮し、下級生の目標となる。	集会等において、生徒が主体的に行動できるような指導体制の構築を行う。 学年およびクラス代表生徒による整列指示等の徹底。 代表以外の生徒についても、指示待ちでなく、先を見据えて行動する意識の涵養を図る。	生徒指導部による学校生活アンケート(生徒・保護者)	
	生徒個々人が希望する進路選択を実現できるようにする。	日常的に生徒と会話をし、生徒の個性に応じた進路情報の提供を行う。 入社(入学)試験に対応した学習や面接等の指導を行う。 社会人としての挨拶や身だしなみについて、日常の中で身に付けさせる。	進路希望調査(生徒・保護者) 進路指導部による諸アンケート(併用)	
工業教育	魅力ある学科、得意技コース制の活性化を図る。	学科の教育内容の充実を図るとともに、得意技コース制の特色を活かし幅広い知識を身に付けさせる。 得意技コース制の運営を円滑にし、魅力を発信する取り組みを行う。 産学官連携事業など専門教科の学習を通して職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力を育成する。	学科コース編成のための希望調査(1学年・生徒・保護者)	
	テクノボランティア、地域や中学校へのPR活動を推進する。	テクノボランティアを充実させ、地域との連携を深めるための施設設備の充実を図る。 出前授業や地域の活動等に積極的に参加し、最新情報を発信することで、学校のPRに繋げて行く。 広報と連携しホームページを充実するとともに、わかりやすく興味・関心を持たれる内容となるよう工夫する。	満足度等アンケート(中学生・生徒)	
建築科	基本的な生活習慣の確立を図る。	5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期限の厳守など指導を徹底する。 実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。 担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
	資格取得・ものづくりの充実を図り、進路意識の高揚を図る。	各種検定試験において昨年度以上の合格率を目指す。 ものづくりを通して得た技術をもとに、テクノボランティア活動で地域貢献をする。 製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動を充実させ、進路意識の高揚につなげる。	出前授業・ものづくり教室・体験入学・地域ボランティア等でのアンケートの実施(中学生・保護者・地域参加者)	
環境デザイン科	人格形成と資格取得に取り組み、より良い進路実現が果たせるように努める。	時間と規則を遵守するとともに礼儀や正しいマナーを身に付け、社会性を広げる指導を行う。 生徒の主体的な資格試験への取り組みを促し、全資格試験の合格率向上に繋げる。 進路先の研究を深め、適正率の高い第1希望の決定とその合格率を高める。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
	ものづくりを通し学んだことを活かし、地域と連携することで学校の活性化に繋げる。	地域と連携したものづくりを実践し、社会貢献に主体的に取り組む態度を育成する。 伝統を守りつつ、生徒の意見を反映させながら、日々新しい実習内容にチャレンジする。 体験入学やSNSを有効に活用し、環境デザイン科の特色をPRする。	体験入学等でのアンケートの実施(中学生・保護者)	

機械科	生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	あいさつ5S運動に積極的に取り組み、清々しいあいさつが出来る様に指導を行う。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		時間の厳守、返事の徹底を図り、社会人として必要な礼儀の指導を行う。		
		授業等での報告・連絡・相談の徹底や身だしなみに関する指導を充実させる。		
電気科	進路決定を見越した資格取得の充実化・支援を行う。	科の特色や生徒のニーズに応じた資格指導を充実させる。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		指導体制の充実や環境整備を行い、手厚い資格指導を行う。		
		進路に関する知識や情報を収集し、個に応じた指導に努める。		
材料技術科	基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	産業現場が求める資質を習得させ、皆勤・精勤75%を目指す。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		実験・実習の時間を通して時間の厳守・身だしなみ・挨拶等の徹底した指導を行う。		
		資格指導を通じた自宅学習の習慣化を図る。		
材料技術科	進路意識の高揚を図り、社会人として通用する資質を身につけさせる。	資格取得に対する生徒の意識向上を図り、最低3種類の資格を取得させる。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		全生徒との個人面談を行い、論述的表現能力の育成を図る。		
		インターンシップ等、外部との連携を密にし、社会から求められる人材を育成する。		
材料技術科	基本的な生活習慣の確立を図る。	学科のすべての活動の中で、服装や礼儀、挨拶5Sの指導を徹底し、社会性を身に付けた生徒の育成を行う。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		日頃から、生徒の状況を共有し、学科職員全体で生徒を指導する体制を作る。		
		規律の大切さを実感させるために、実習においては、機器類の安全な操作方法や道具等の整理整頓の徹底を図る。特に安全作業での6Sをよく理解させ、行動できる力をつける。		
材料技術科	学力向上に努め、資格取得の推進及び合格率の向上を目指し進路実現につなげる。	授業改善に取り組むとともに、生徒個々の力に合った指導を放課後や考査前学習会で行い、専門教科指導の充実を図る。	授業アンケート等(生徒・保護者)	
		インターンシップや工場見学等で就業心をよく理解させ、学校生活の中に取り組み、行動できる人材育成を図る。の事前指導や面接指導を全職員で取り組む。		
		資格取得の指導と授業の関連性を密にし、放課後等の時間を使い知識を深め試験直前に集中対策講座を行うことで金属熱処理技能士の合格率を70%を目指す。		
材料技術科	ものづくり活動を通して広報活動及び地域貢献を行う。	出前授業や地域のイベント等に積極的に参加し地域貢献を図り、材料技術科のPR動画を作成、配信することで材料技術の魅力伝えるコンテンツを充実を測る。	出前授業・ものづくり教室・体験入学・地域ボランティア等でのアンケートの実施(中学生・保護者・地域参加者)	
		課題研究やものづくり教室を通して、テクノボランティア活動を行い、地域貢献に努め、浮工の好感度を上げる。		
		生徒が積極的にものづくり活動が行えるように、ものづくりができる環境を充実させ、高度熟練者等による技術学習を行い、高度な技術の習得を目指す。		